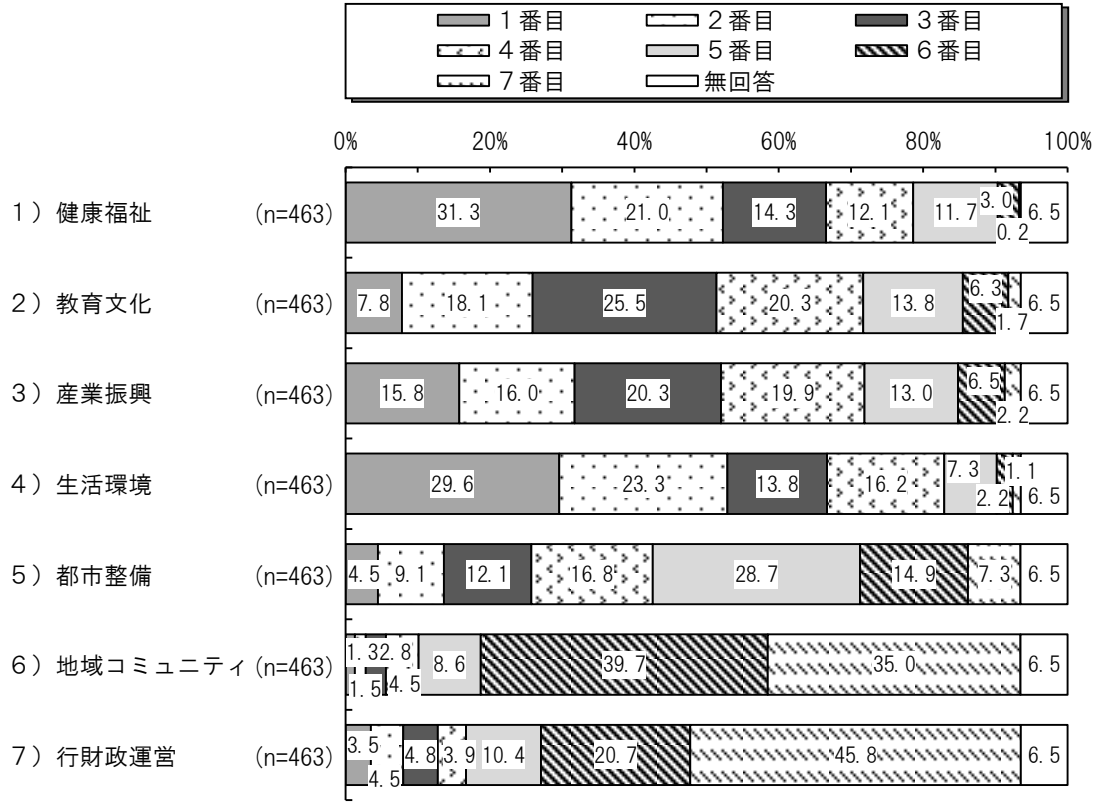


iv 今後のまちづくりについて

20 これからの注力分野

【問17】まちづくりで取り組むべき分野の優先度について、どのようにお考えになりますか。力を入れるべき優先順に1番から7番まで記入してください。

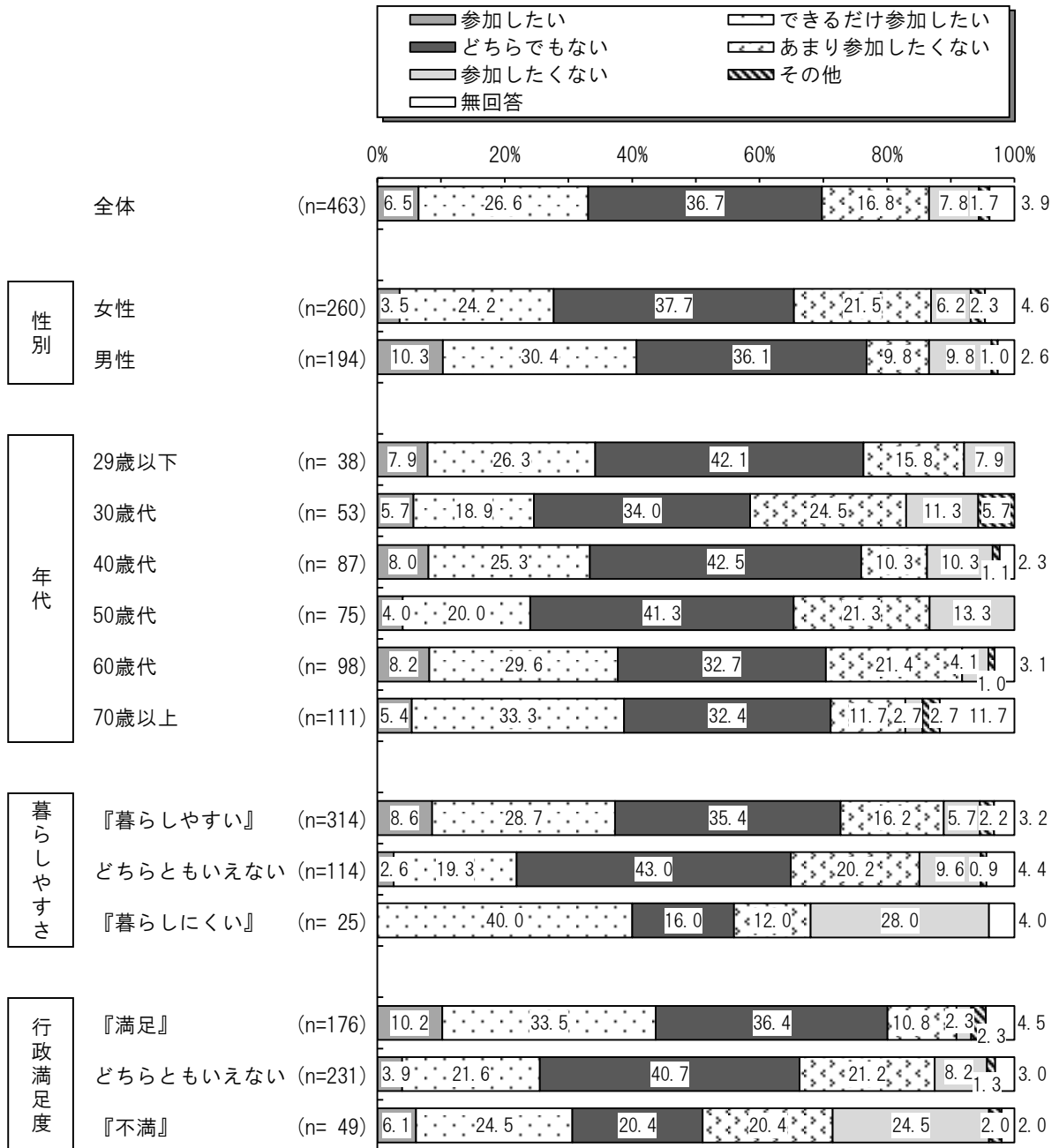
これからの注力分野は、「健康福祉」が最も多く1番目に選ばれている。



21 まちづくりへの市民参加について

【問18】まちづくりに対する市民参加の機会がある場合、参加したいと思いますか。（1つに○）

まちづくりへの市民参加については、「どちらでもない」が36.7%と最も多く、次いで「できるだけ参加したい」が26.6%、「あまり参加したくない」が16.8%などとなっている。

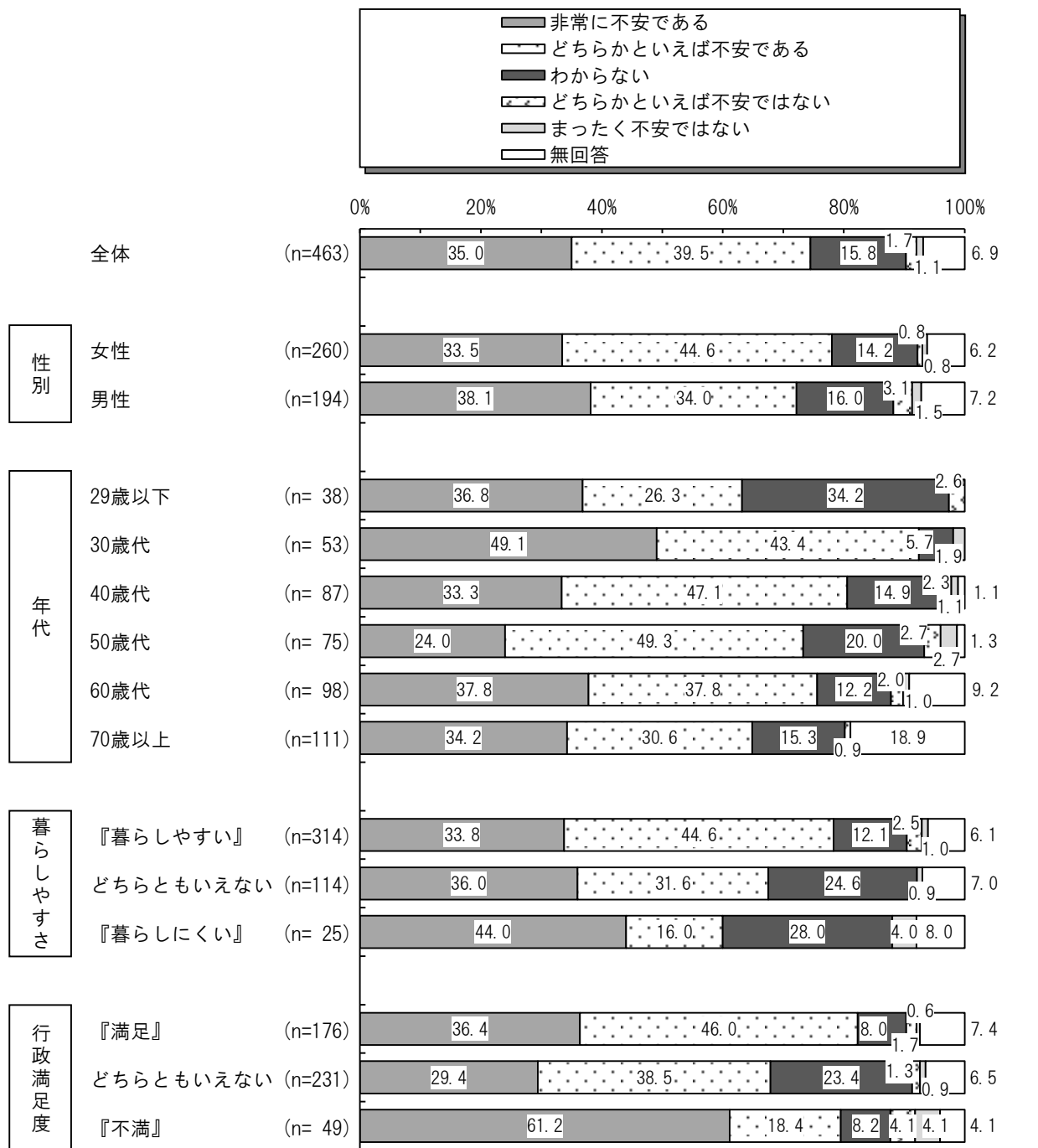


※0.0%非表示

22 人口減少に対する考え方

【問19】岡谷市の人口は47,924人（4/1現在）ですが、国の推計によると2060年には約29,000人まで減少し、少子高齢化がさらに進行することで、税収の減少や一人当たり社会保障費の増大など、自治体の行政運営や市民の生活にも様々な影響が出ると考えられます。人口減少に対するお考えを教えてください。（1つに○）

人口減少に対する考え方は、「どちらかといえば不安である」が39.5%と最も多く、次いで「非常に不安である」が35.0%、「わからない」が15.8%などとなっている。

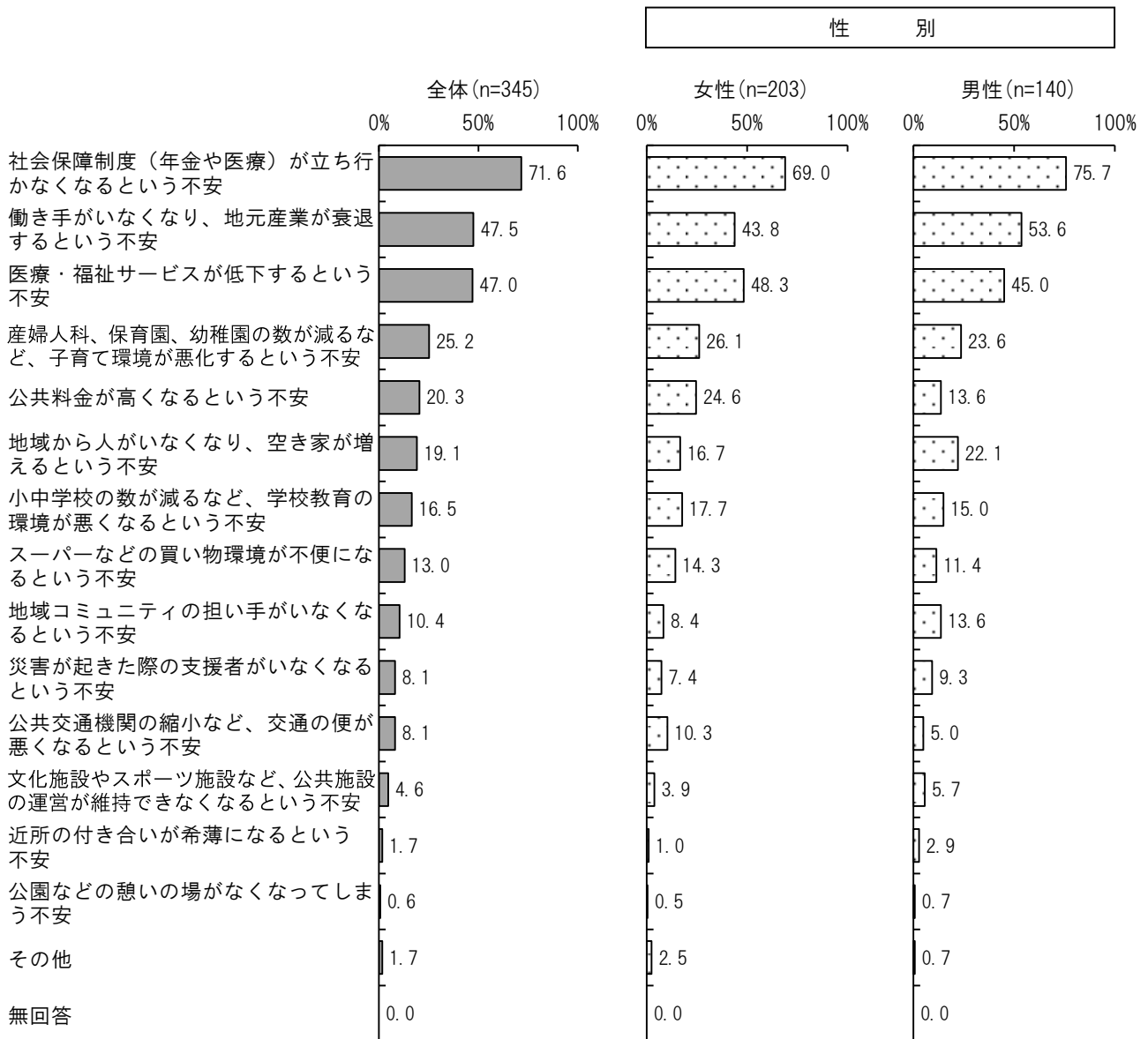


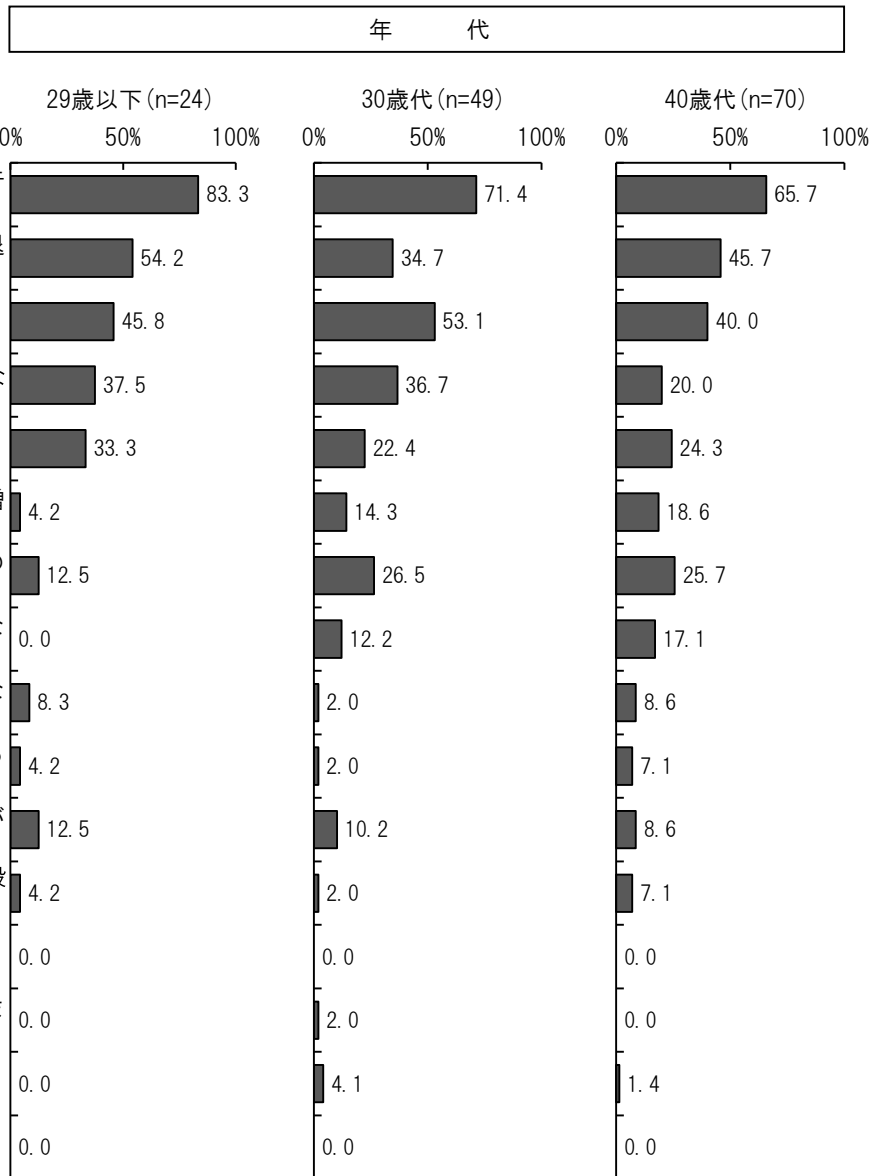
※0.0%非表示

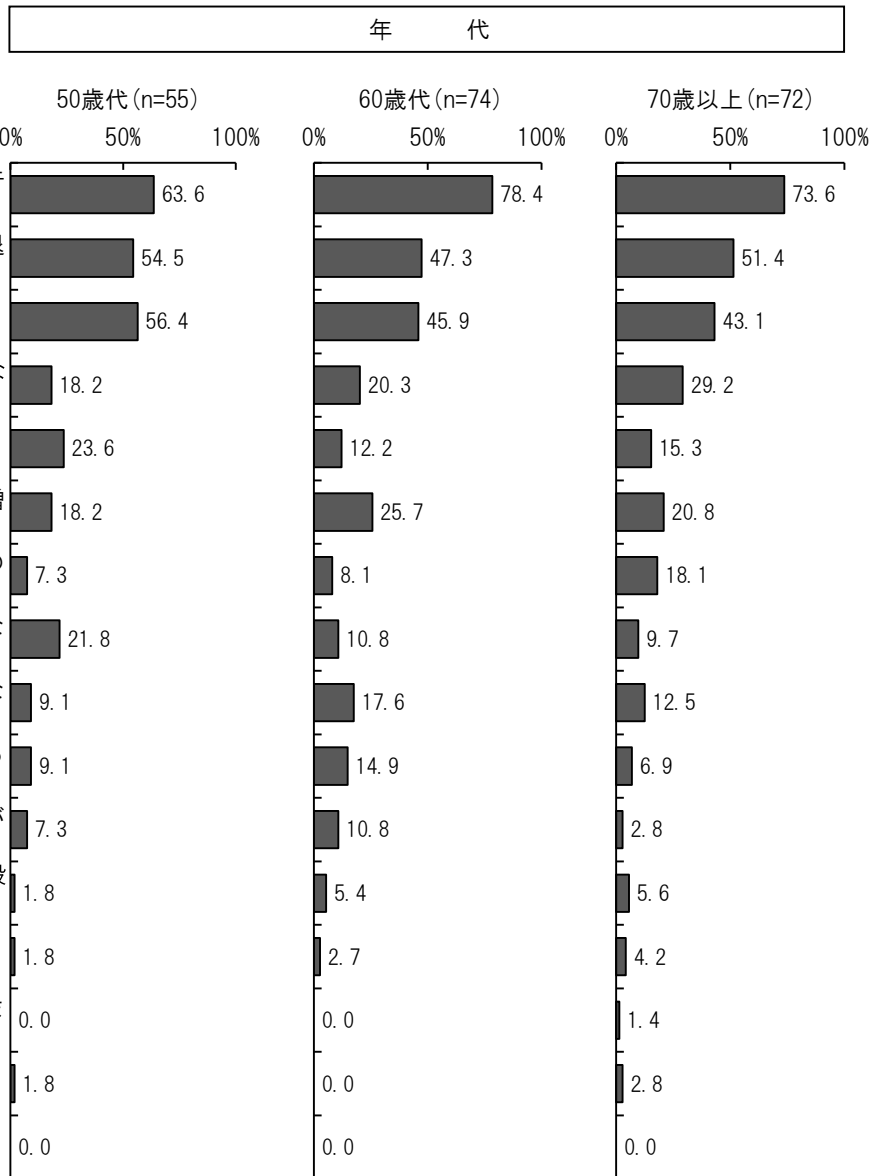
23 人口減少に対する不安の内容

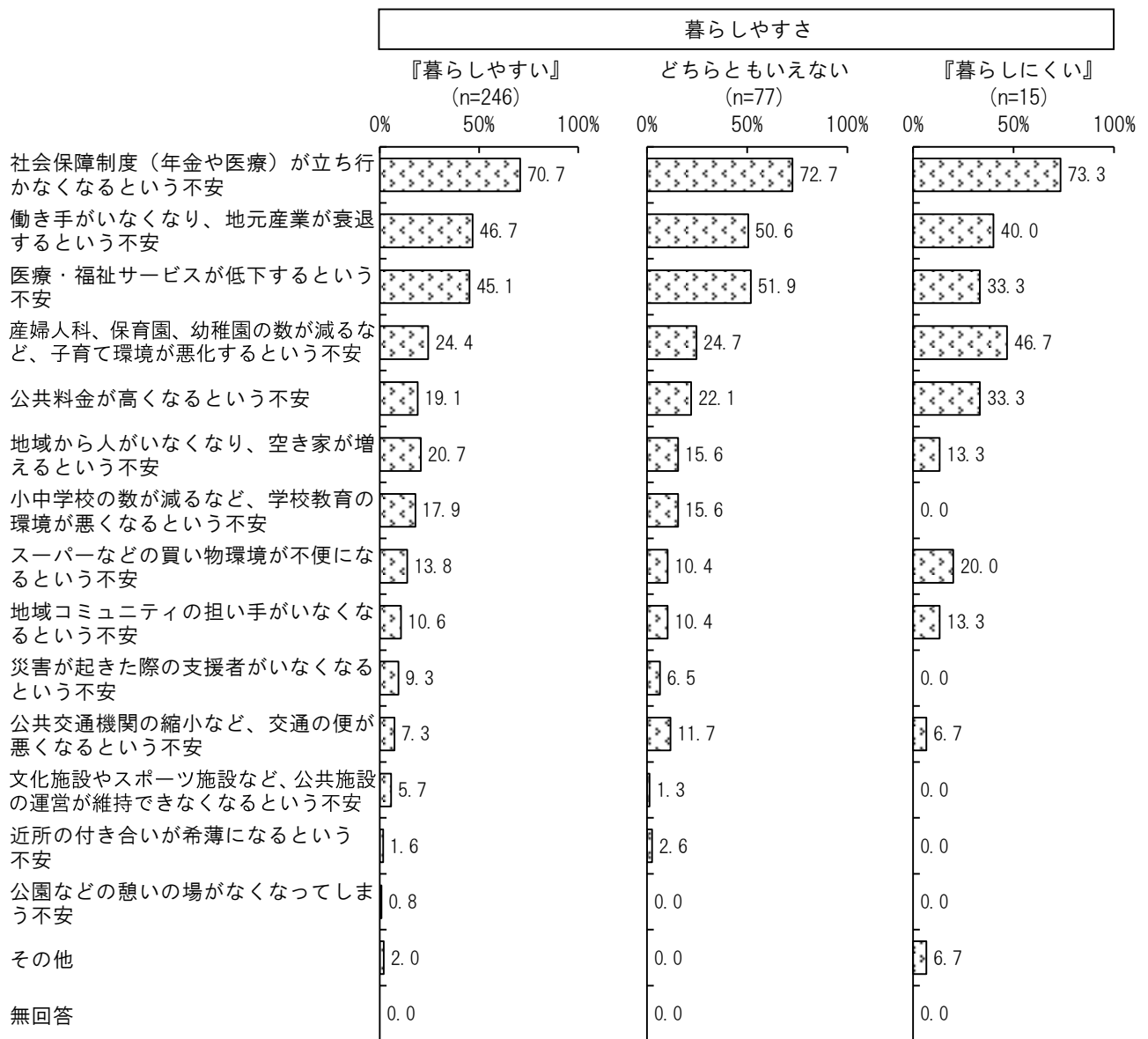
【問20】 問19で「非常に不安である」、「どちらかといえば不安である」と回答された方にお尋ねします。そのように思う主な理由は何ですか。 (3つに〇)

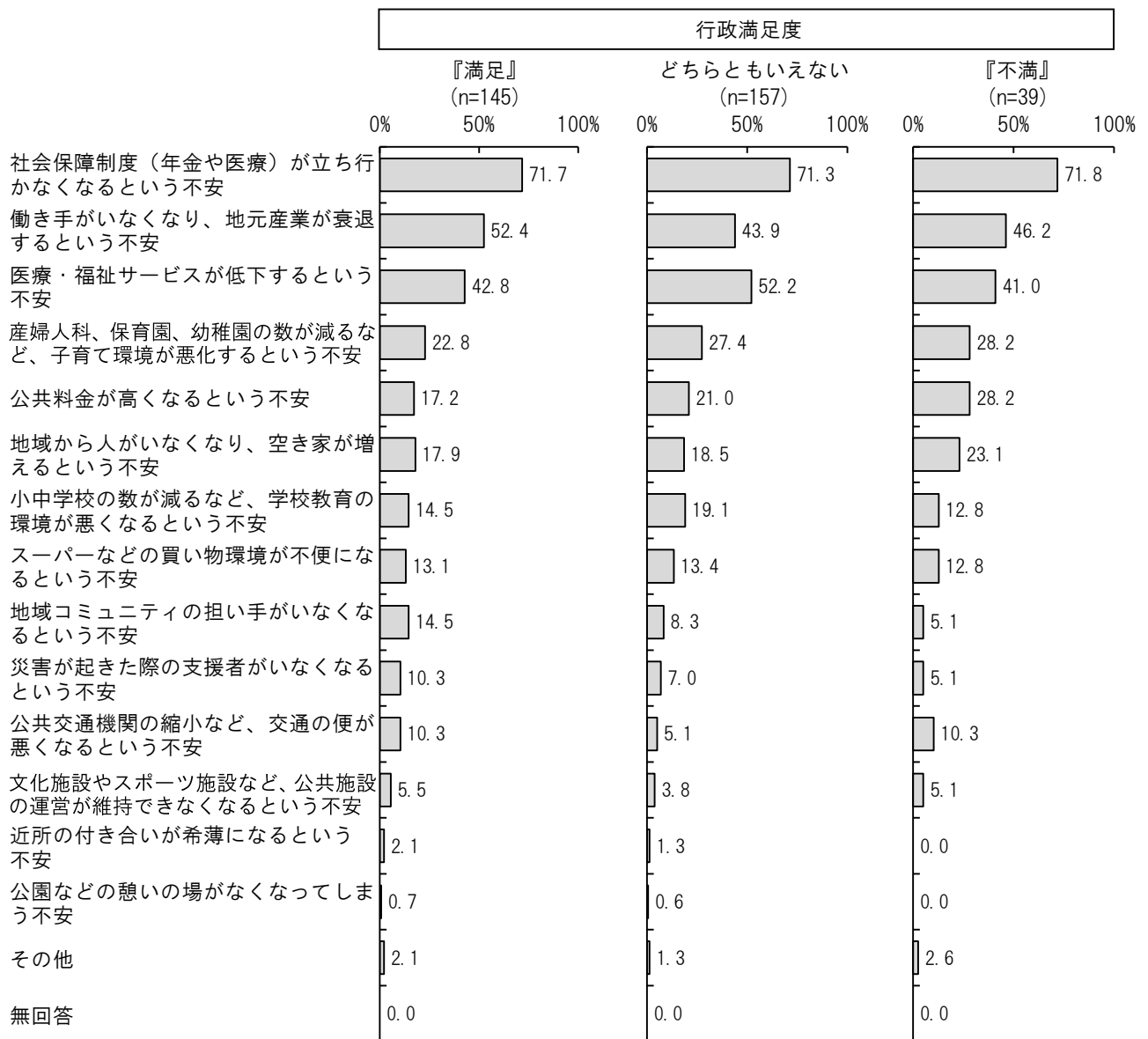
人口減少に対する不安の内容は、「社会保障制度（年金や医療）が立ち行かなくなるという不安」が71.6%と最も多く、次いで「働き手がいなくなり、地元産業が衰退するという不安」が47.5%、「医療・福祉サービスが低下するという不安」が47.0%などとなっている。







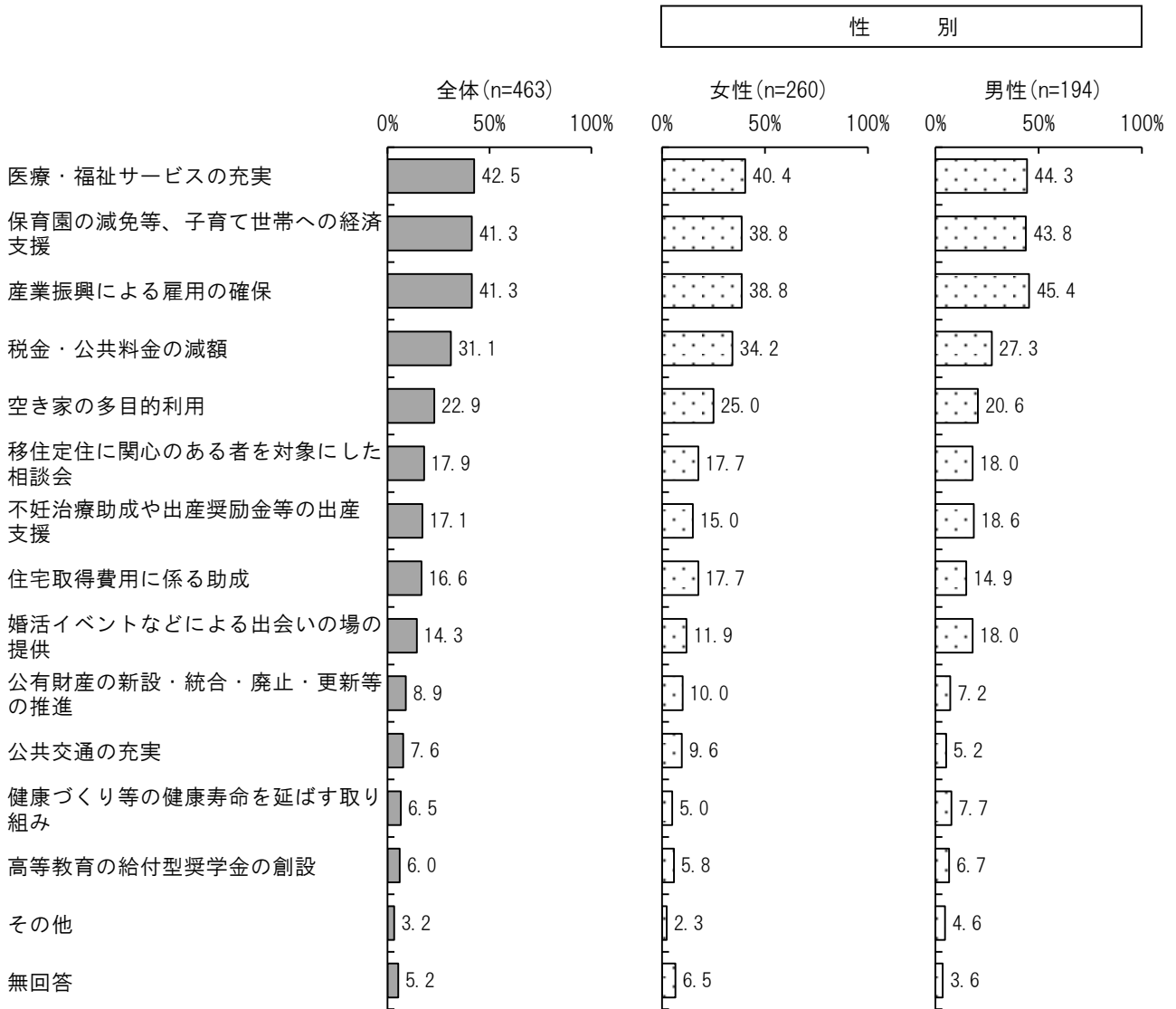


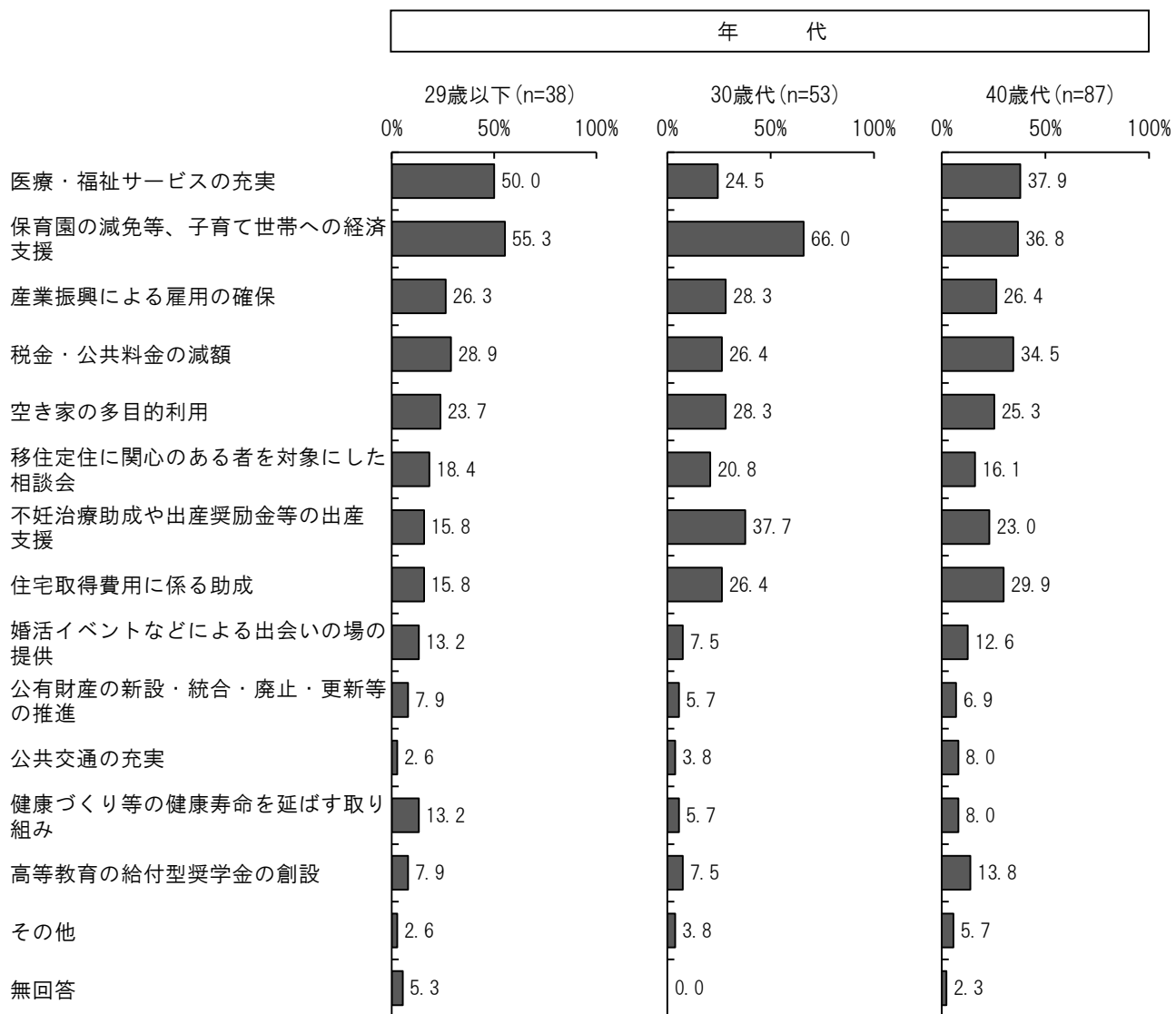


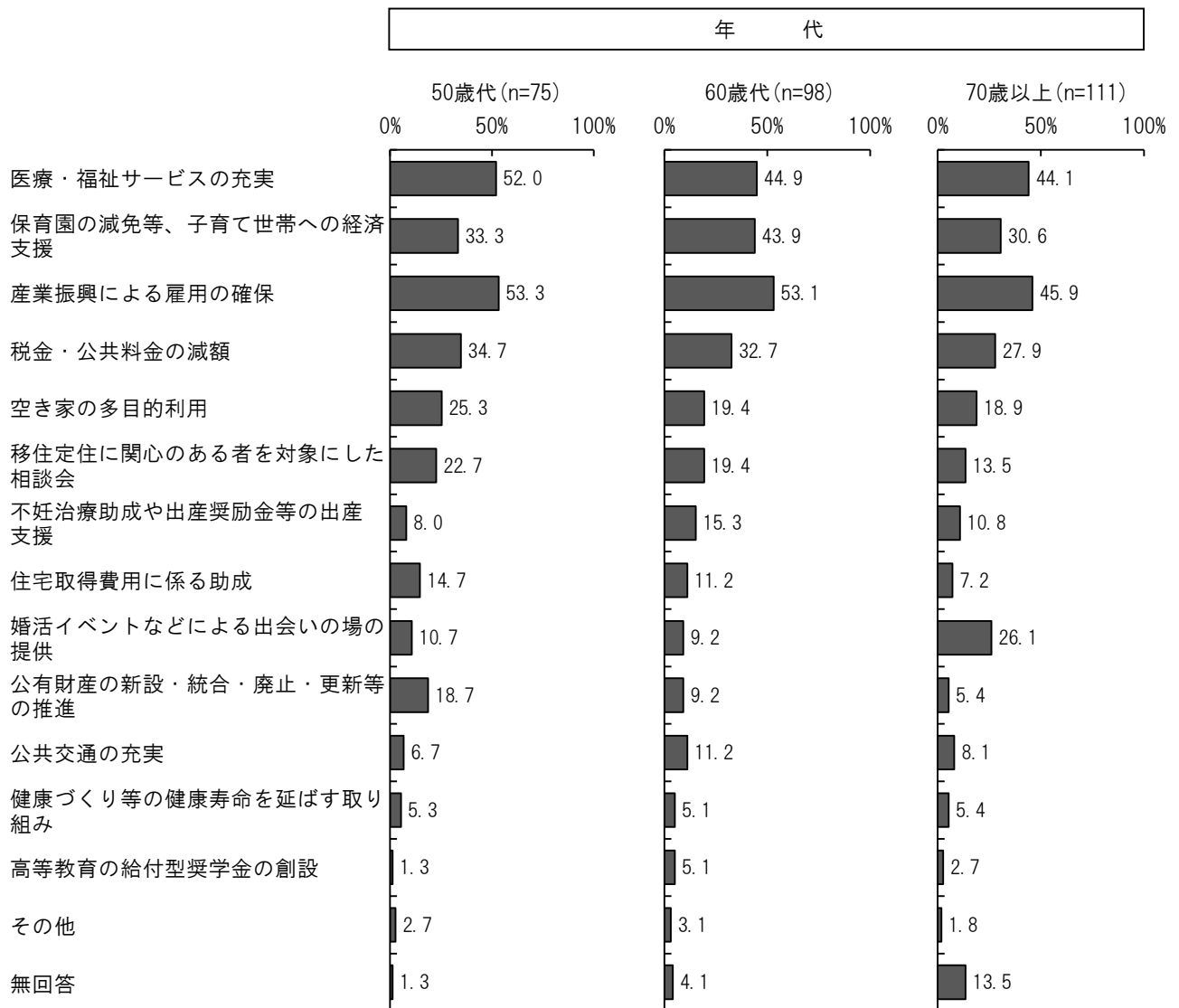
24 力を入れるべき岡谷市の人口減少対策

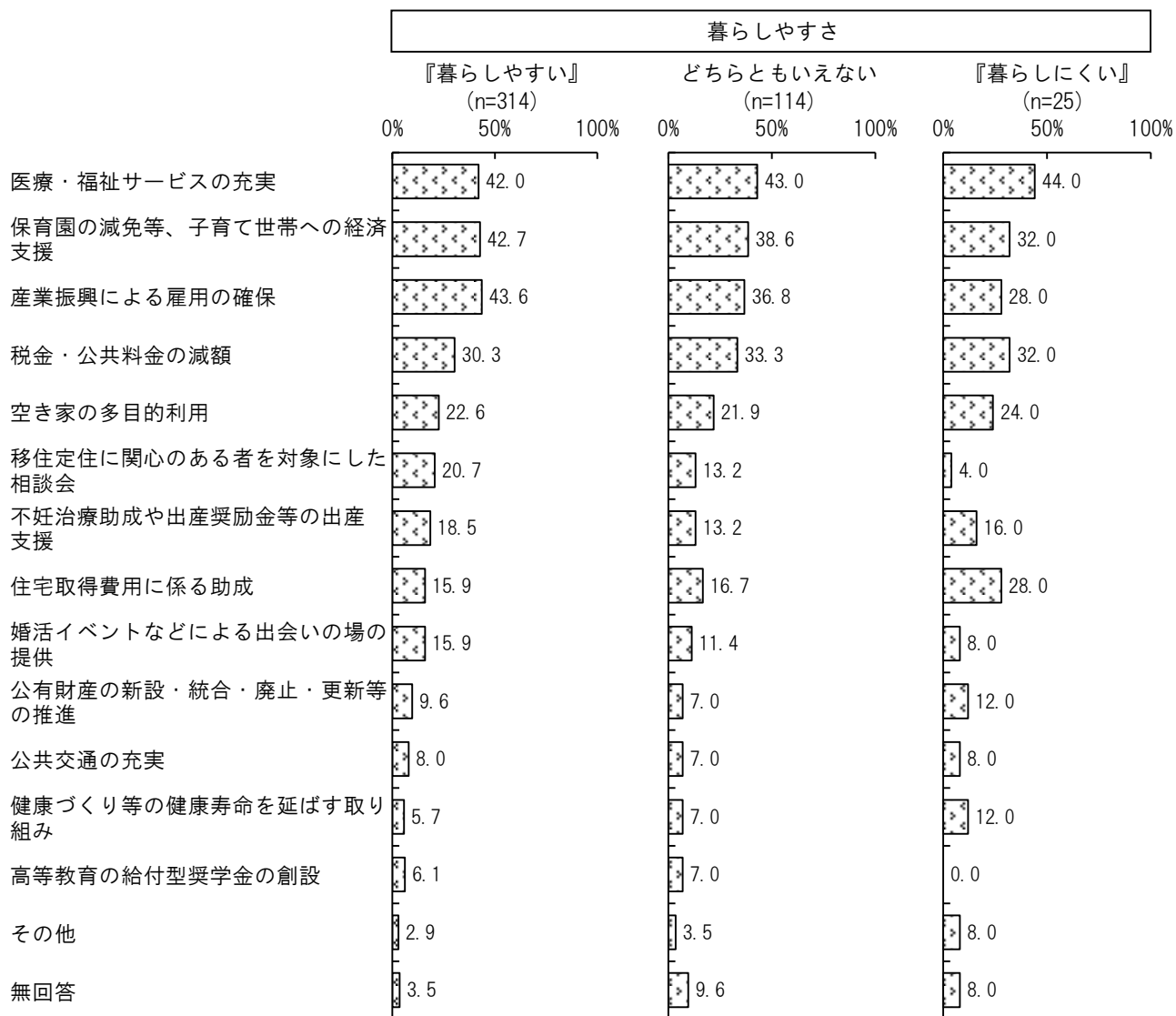
【問21】 岡谷市は人口減少対策について、どのようなことに力を入れるべきですか？（3つに〇）

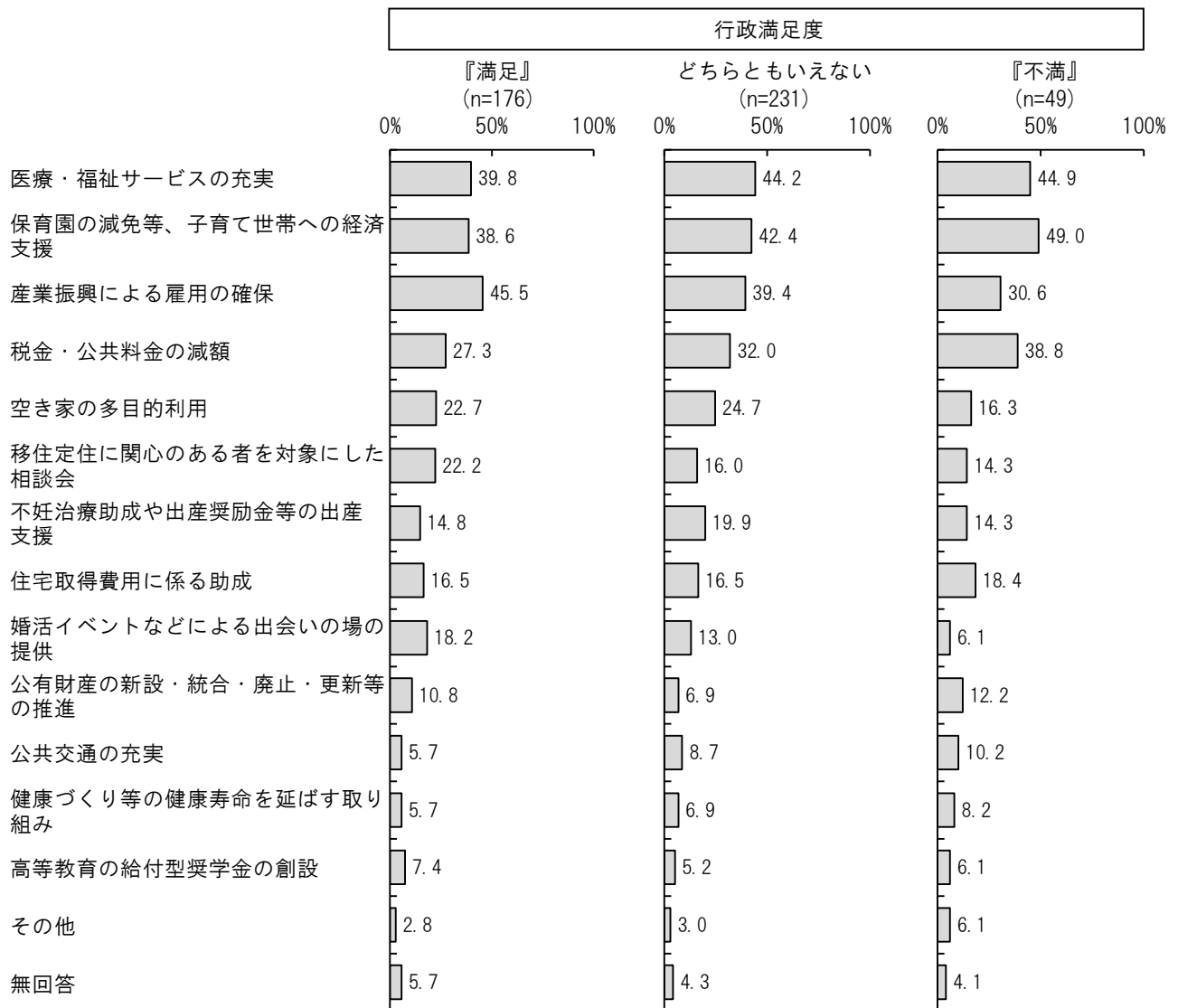
力を入れるべき岡谷市の人口減少対策は、「医療・福祉サービスの充実」が42.5%と最も多く、次いで「保育園の減免等、子育て世帯への経済支援」「産業振興による雇用の確保」がともに41.3%、「税金・公共料金の減額」が31.1%などとなっている。









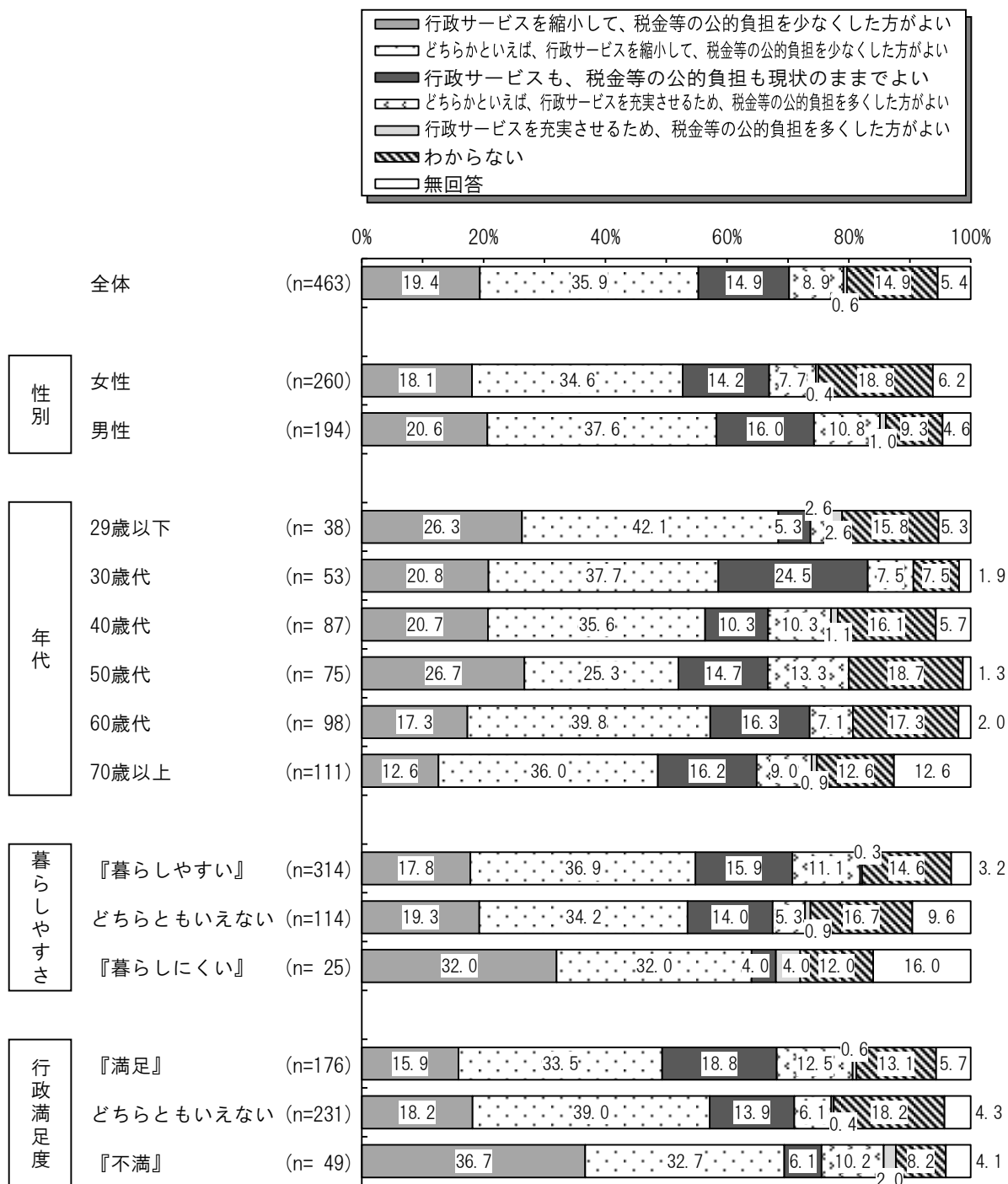


25 行政サービスと市民負担との関係

【問22】人口減少や少子高齢化により、地方自治体を取り巻く財政状況はいつそう厳しくなり、これからのまちづくりは限られた財源をより効果的に配分・活用していく必要があります。このような中で今後の行政サービスのあり方について、どのように考えますか？

(1つに○)

行政サービスと市民負担との関係は、「どちらかといえば、行政サービスを縮小して、税金等の公的負担を少なくした方がよい」が35.9%と最も多く、次いで「行政サービスを縮小して、税金等の公的負担を少なくした方がよい」が19.4%、「行政サービスも、税金等の公的負担も現状のままでよい」が19.4%、「どちらかといえば、行政サービスを充実させるため、税金等の公的負担を多くした方がよい」が19.4%、「行政サービスを充実させるため、税金等の公的負担を多くした方がよい」が14.9%などとなっている。



※0.0%非表示

26 行財政改革における優先的事項

【問23】財源を捻出する上で行財政改革も平行して行っていく必要がありますが、岡谷市が優先的に
 行うべき項目はどのようなことですか？ (3つに〇)

行財政改革における優先的事項は、「周辺市町村との連携による事業の共同実施」が35.6%と最も多く、次いで「各団体への助成金・補助金の見直しや減額」が32.2%、「公共施設の統廃合」が30.9%などとなっている。

